



キャリアナビゲーター通信

企業連携販売学習の校内実習(貼り箱製作)を行いました！

11月13日(月)～17日(金)の1週間、校内実習として貼り箱製作を行いました。
今回製作した貼り箱は、ドライフラワーをつくる会社に納品してお花を詰めてもらい、
実際にギフトボックスとして、一般の方向けに商品として販売をするものになります。た
だ任された箱づくりの仕事をするのではなく、どういう目的や想いでつくられる商品な
のか(今回は、クリスマスを意識したギフトボックス)を9月のオリエンテーションで企業
の方からお話を聞き、コンセプトに合った箱の色を生徒皆さんで選んでから今回の製
作に臨みました。

16日には、新聞社さんからの
取材もありました！

<実習の様子>

役割分担をし、みんなで協力しながら製作をしました。



1. 型紙を折り、セロハンテープで角を止める

セロハンテープを、淵ぎりぎりに
きれいに貼れるまで上達しました。



2. 貼り紙に、箱を置く際の目印の点を書く

目印がずれると箱がきれいにできない！
大事な役割だと理解しながら点を書きました。



3. 貼り紙にのり(ニカワ)を塗る

寒く、乾燥する今の時期はのりがすぐ固まって
しまい、素早く、ムラなくを意識して塗りました。



4. 組み立てた型紙を貼り紙の中央に載せる

置く位置がずれると、貼り紙がきれいにつかないので、
目印の点をしっかり見て型紙を置くことができました。



5. 貼り紙を綺麗に貼り付ける

商品になることを意識して、しわがつかたり、
空気が入ったりしないよう貼り付けをしました。



6. チェックを受ける

上手にできたところや、改善点を確認し、次に
生かせるようにしました。報告・連絡・相談の大切さ
も学びました。



7. 検品(商品としてふさわしい品質かのチェック)をする

商品としてふさわしい・ふさわしくない理由を
説明できるように考えながら仕分けをしました。



8. 12・13・14組が製作した印のスタンプを紙に押す

決められた枠の中に収まるよう、また、ななめに
なったり、かすれたりしないよう意識しました。

この1週間の実習で製作した箱の数は、A(商品としてふさわしい)、B(悪くはないが、
小さなしわなどがある)、C(破れや汚れがあり、商品としてふさわしくない)に分けると…

 A:119個、B:39個、C:55個 でした！



～実習を終えて(できたこと、もっとできるようになりたいこと)～

- 体力が切れたり、指示を聞いてなかった時があり、もっと体力や丁寧さをつけたい
と思った。
- 紙を折るのが苦手だったので自信がなかったけど、やりはじめたらちょっとずつ楽し
くできたのでよかったです。少し手先が器用になった感じがします。



この1週間、1～6時間目までみっちり作業していましたが、最後まで集中して一生懸命
取り組みましたね！本物の商品をつくる体験から、その難しさと、うまくできたときの喜
びのどちらも感じる事ができましたね。

作って終わりではなく、次回は実際に販売に行きます！どうやったら手に取ってもらえ
るか？工夫しながら取り組んでみましょう♪

